

商工会女性部はまちに
元気と安心をお届けしています。

はちみつ 通信

清掃活動で
矢作川の景観を守り、
旭の魅力度向上へ
旭商工会女性部(愛知県)



豊田市旭地区(旧旭町)は市北東部に位置し、岐阜県との県境にあります。旭地区は自然薯、タケノコ、アユなどが名産であり、自然豊かで景色のよい地域です。そんな旭地区を流れる矢作川は一級河川であり、水の郷百選にも選ばれるなど、旭地区の人々に古くから親しまれています。

しかし今では、河川敷でのキャンプなどで廃棄されたゴミが見受けられるようになりました。

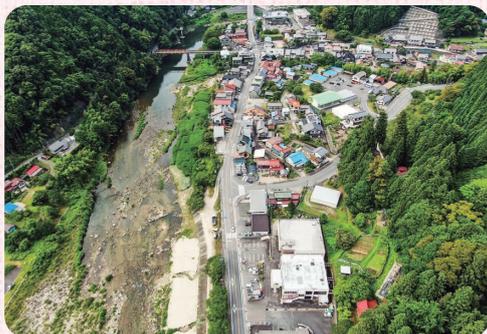
そこで旭商工会女性部では、矢作川のきれいな景観を守るため毎年10月に「環境美化活動」を行っています。コロナ禍でも続いているこの活動では、矢作川周辺の河川敷、道路を女性部総出で清掃していきます。活動内で見つかるゴミはペットボトルや金属ゴミ、まれにタイヤなど、さまざまです。毎年8袋ほどのゴミを集め、最後にそれを囲んで写真を撮るのが恒例となっています。



地域を案内するまち並み散策の様子

『らんまん』放送に合わせ、
おもてなし交流事業で
地域の発展に貢献
佐川町商工会女性部(高知県)





上、左/毎年実施している清掃作業の様子 右/町内を流れる矢作川

また、近年では女性部員のお子さんやお孫さんが参加されることもあり、活動が地域の方々に広がっていることを実感しています。

この取り組みを次の世代へと引き継

ぎ、矢作川のきれいな景観を守り続けることによって、旭の魅力を上向きさせ、多くの人に旭に足を運んでいただけたらと思っています。



牧野博士が採集した桜の標本写真の新聞バッグ

2023年4月より、佐川町出身で日本の植物学の父とも呼ばれる牧野富太郎博士をモデルとしたNHK連続テレビ小説『らんまん』が放送されています。これを機に、佐川町商工会女性部では全国の女性部員の皆様にも当町を知ってもらい、地域を盛り上げていくためにもてなし交流事業のプランを作成しました。

佐川町は藩政時代には城下町として栄え、現在も酒蔵をはじめ古いまち並みが残っています。春には牧野公園を中心に町中が桜のピンクに彩られ、冬の酒蔵通りを歩けば風に乗ってほのかに新酒の香りが漂い、四季折々楽しい発見ができます。おもてなしプランでは、ガイドによる歴史情緒あふれるまち並みの散策と元氣いっぱいな女性部員によるおもてなしを行います。

プラン作成のための活動では、女性部にとってもうれしいことがあります。お土産品に採用しようと地元の酒



女性部では観光列車のお手振り事業も実施

造会社、洋菓子店に部長が声がけをしたところ、部員の新規加入につながりました。さらに、お土産品入れとして牧野博士が採集した桜の標本写真のラッピング紙面で「新聞バッグ」を手づくりした際には、普段集まらない部員も参加し、部員同士の交流の機会となりました。

今後はおもてなしの充実に向け、自分たちでまちなか散策のガイドができるように勉強会を行い、地域振興につながる取り組みを続けていきたいと考えています。